

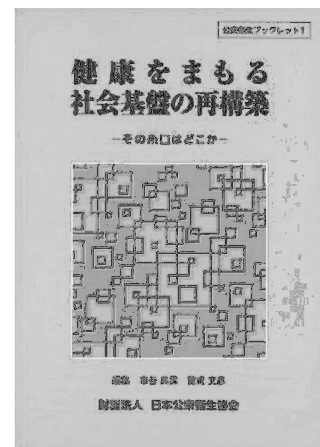
《 公衆衛生ブックレット1 》 健康をまもる社会基盤の再構築 —その糸口はどこか—

編集 車谷 典男 (奈良県立医科大学)、實成 文彦 (日本公衆衛生学会理事長)

A 5判 77頁 定価 1,000円 (税別) ISBN978-4-8192-0225-1

目次

- 健康格差 —現状と生成プロセス、そして対策の糸口—
近藤 克則 (日本福祉大学健康社会研究センター)
- 仕事あつての健康、健康あつての仕事
圓藤 吟史 (大阪市立大学)
- 我々はどのような社会を望んでいるのか、その理念は何なのか?
—保健民主主義の観点から—
松田 晋哉 (産業医科大学)
- 地域における自殺対策の推進と社会基盤の再構築
本橋 豊 (秋田大学)
- 「健康をまもる社会基盤の再構築」と公衆衛生の課題、学会の役割
實成 文彦 (日本公衆衛生学会理事長)



《 公衆衛生ブックレット2 》 地域医療を立て直す知恵と技

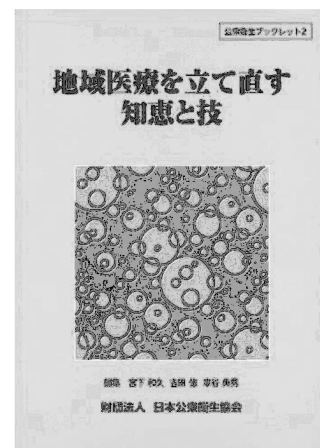
編集 宮下 和久 (和歌山県立医科大学)、吉田 修 (奈良県地域医療等対策協議会)、

車谷 典男 (奈良県立医科大学)

A 5判 63頁 定価 900円 (税別) ISBN978-4-8192-0226-8

目次

- 地域医療の再生は住民・医療者・行政で
吉田 修 (奈良県地域医療等対策協議会)
- 地域医療を立て直す知恵と技 —ヘルスプロモーション理念に基づいて—
櫃本 真幸 (愛媛大学)
- みんなで守ろう日本の医療 —全員参加の地域医療を目指して—
邊見 公雄 (赤穂市民病院)
- 地域医療を守りたい —住民としてできること—
丹生 裕子 (兵庫県立柏原病院の小児科を守る会)
- 奈良県の医療資源の現状と目指すべき方向
荒井 正吾 (奈良県知事)
- 結びにかえて
宮下 和久 (和歌山県立医科大学)



「公衆衛生ブックレット」は、公衆衛生の業務に携わる方はもちろん、これから公衆衛生の道を志す方にも気軽に手に取ってお読みいただけるようなシリーズです。

今回ご紹介する2冊は、2009年10月に奈良市で開催された、第68回日本公衆衛生学会総会でのメインシンポジウムとパネルディスカッションを素材とした、全編書き下ろしです。

2010年版 インフルエンザの予防と対策

米国疾病管理センター(CDC)

廣田 良夫・葛西 健 翻訳監修

B 5判 164頁 定価 1,300円 (税別)

ISBN978-4-8192-0229-9

米国疾病管理センター(CDC)予防接種諮問委員会(ACIP)勧告2010年版を翻訳。この勧告はインフルエンザ対策のガイドラインとして世界中で参考にされているものです。同勧告に加え、「CSL社の季節性インフルエンザワクチン使用に関する勧告」も併せて掲載しています。インフルエンザに関する最新の正しい知識をお手元に。

※2005、2006、2007、2008、2009年版もわずかですが、在庫がございます。



ご注文・お問い合わせ先

財団法人 日本公衆衛生協会 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 Tel. 03-3352-4281 Fax. 03-3352-4605

HP : <http://www.jpaha.or.jp> E-mail : info@jpaha.or.jp

※当協会の出版物は医学書専門店にてご覧いただけます。また、一般書店でもお取り寄せができます。